ふるさと納税を活用した地域産品創出事業　提案書（サンプル①）

提案者について	
提案者名	株式会社○○
代表者役職氏名	代表取締役社長　○○○○
担当者氏名	販売部　○○○○
会社所在地	宮崎市○○町○○丁目○○番○○号
電話番号	0985-○○-○○○○
FAX番号	0985-○○-○○○○
メールアドレス	○○○○○○
主たる業種	食肉小売業
現在の返礼品提供	あり
提案者の概要	1994年に宮崎市で創業。〇〇有限会社から宮崎県域産の原料（宮崎市産が流通上混在）を仕入れ、精肉の加工販売を中心に行っており、宮崎市を含む県内のスーパーなど取引先は約20社にのぼる。2019年からふるさと納税返礼品としても提供を開始しており、徐々に取引数量が増加。現在では、ふるさと納税の返礼品が当社売上の3割を占める。
提案者の 現状・課題・展望	当社が現在返礼品として提供している「宮崎牛ハンバーグ」は、ふるさと納税の返礼品として順調に売上を伸ばしているものの、繁忙期である8月、12月には在庫不足による受注制限（ふるさと納税の受付停止や取引先との取引量の減）が発生している。 また、ふるさと納税以外でも、取引先企業との取引量も制限せざるを得ず、ふるさと納税の需要期がギフトシーズンと重複するため、商品ニーズに十分に対応できていない状況である。設備の導入による生産性向上は売上を増加させるための大きな課題となっている。 安定した供給が可能になった場合、現在のふるさと納税と県内市場の枠を超え

	た、更なる販路拡大が必須となる。そのため、ふるさと納税で培ったノウハウを活かし、ECサイトへの出店によって市域外の大きな市場との取引を重点的に目指していく。	
事業概要		
プロジェクト名	宮崎牛ハンバーグ　生産性向上プロジェクト	
整備事業費	20,000千円	
自己資金の確保策 ※補助額が½のとき	補助金	10,000千円
	自己資金	3,000千円
	借入金	6,000千円
	その他（○○補助金）	1,000千円
	補助金以外の資金確保について	例）自己資金により対応可。 例）金融機関からの借り入れを想定しており、既に○○千円の融資を相談済み。
提案内容	ハンバーグ用充填機、全自動包装機、冷凍プレハブの導入により、生産力を強化するとともに、迅速な出荷とより安価での商品提供を実現する。	
目的	省力化による生産能力の拡充を図ることで、ふるさと納税市場のファン層を拡大させる。将来的には、ふるさと納税だけでなく市内外の新規取引先やECショップ立ち上げなどの販路拡大を目指す。	
補助事業の効果	生産量の増加 ハンバーグ成形機導入により、ハンバーグの生産能力が向上する。 ふるさと納税返礼品提供可能数量 従前｜4,500個/月（300セット/月） 機械導入後｜9,000個/月（600セット/月） ※1日あたりの生産可能数が従前の2倍以上になる見込みに基づく。 品質の向上 ハンバーグ充填機のテスト運転の結果、従来よりもふっくらとした焼き上がりになることが確認された。これまでお客様から多く寄せられていた、焼き上がりの改善要望に対応できる。	

<table>
<tr><td></td><td colspan="3">顧客満足度の向上
　品質向上により、顧客満足度を高めることができる。
寄附額増加
　ふるさと納税返礼品の提供可能数量の増加と品質向上により、寄附額の増加が見込まれる。
地域産品のブランド化
　宮崎牛ブランド力の強化につながり、市場での競争優位性を確立できる。</td></tr>
<tr><td>産業振興効果</td><td colspan="3">市内業者との取引量の増加
　ふるさと納税の返礼品需要増加に伴い、仕入れを行っている宮崎市内業者との取引量が増加し、地域経済の活性化に貢献する。
雇用の創出
　本プロジェクトの実現に向けて、パート職員3名の追加雇用を予定しており、地域雇用の創出に寄与する。
生産性の向上
　生産量の増加とコスト削減効果が見込まれる。
「宮崎牛ハンバーグ」ブランドの確立
　ECショップ開設と首都圏を中心としたプロモーション展開により、「宮崎牛ハンバーグ」のブランド化を推進し、お取り寄せグルメの定番商品としての地位確立を目指す。</td></tr>
<tr><td>事業スケジュール</td><td colspan="3">2025年8月：補助率1/2にあたる寄附額達成
2025年9月：補助率10/10にあたる寄附額達成
2025年11月：充填機、全自動包装機導入
2025年11月：商品価格改定</td></tr>
<tr><td rowspan="4">事業の運営体制
※別添可</td><td>役員</td><td>1名</td><td>責任者</td></tr>
<tr><td>部長</td><td>1名</td><td>加工場管理、販売責任者</td></tr>
<tr><td>従業員</td><td>3名</td><td>加工・工程管理</td></tr>
<tr><td>パート職員</td><td>13名</td><td>加工</td></tr>
<tr><td>新規返礼品
※プロジェクトにより造成する場合のみ記入</td><td colspan="3">宮崎牛ハンバーグ（15個）　提供価格3,700円
↓プロジェクト完了後
宮崎牛ハンバーグ（15個）　提供価格3,300円</td></tr>
</table>

※必要に応じて、記入欄を増やしてください。

ふるさと納税を活用した地域産品創出事業　提案書（サンプル②）

提案者について	
提案者名	有限会社○○
代表者役職氏名	代表取締役社長　○○○○
担当者氏名	果汁販売部　○○○○
会社所在地	宮崎市○○町○○丁目○○番○○号
電話番号	0985-○○-○○○○
FAX番号	0985-○○-○○○○
メールアドレス	○○○○○○
主たる業種	フルーツの小売・卸売業
現在の返礼品提供	あり
提案者の概要	有限会社○○は、契約農家から仕入れたフルーツを販売している。 ふるさと納税では、高品質ながらも価格を抑えた「さくらんぼ」を返礼品として提供し、多くのお客様から高評価をいただいている。
提案者の 現状・課題・展望	弊社は契約農家から仕入れたさくらんぼを自社の選果場で選別し、出荷している。現在の主力商品は、傷のある品のみを除いた「1kgセット」であり、売上の過半数を占める。しかし、近年の価格競争の激化により、薄利多売を余儀なくされている。 そのような中、3年前よりハンディタイプの糖度計を導入し、糖度20度以上のものを「さくらんぼプレミアム」として高価格帯ブランドの展開をし始めた。限定200セットのみの販売ながら、毎年2週間以内に完売するほどの人気を誇る。この結果からも、高糖度のさくらんぼに対する消費者の需要の高さが明らかとなっている。 今後、「糖度を測定した甘いさくらんぼ」を産地のブランドとして確立し、さらなる

	魅力向上を図るためには、量産体制の構築が不可欠である。その実現には、より精密かつ効率的に糖度選別を行う「非破壊型 糖度計・選果機」の導入が必要である。この機械を活用することで、安定した品質の高糖度さくらんぼを大量に供給できるようになり、商品の付加価値を飛躍的に向上させることが可能となる。 また、高品質なさくらんぼの量産は、弊社の売上向上のみならず、契約農家の所得増加にも貢献し、地域のさくらんぼブランドの確立につながる。導入を検討している「非破壊型 糖度・選果機」は高額であり、現在のさくらんぼの流通現場においても導入事例はまだ少ない。しかし、いち早く導入することで、他社に先駆けた品質基準の確立が可能となり、先行者メリットを享受できる。 これにより、「甘さを保証されたさくらんぼ」という新たな付加価値を市場に提供し、競争力のあるブランドとしての地位を確立することができる。今後は、高糖度さくらんぼの安定供給を実現し、市場での競争優位性を強化することで、さらなる成長を目指していく。	
事業概要		
プロジェクト名	「甘さが保証されたさくらんぼプレミアム」ブランド化事業	
整備事業費		31,000千円
自己資金の確保策 ※補助額が½の時	補助金	15,500千円
	自己資金	5,500千円
	借入金	10,000千円
	その他	0千円
	補助金以外の資金確保について	例）自己資金により対応可。 例）金融機関からの借り入れを想定しており、既に○○千円の融資を相談済み。
提案内容	透過式内部品質センサーで、糖度・酸度・熟度・内部障害などを検査できる自動選果機を導入することで、さくらんぼの高付加価値化を実現する。	
目的	ブランド価値、顧客満足度の向上のため	

補助事業の効果	選果精度の向上 　非破壊型 糖度・選果機の導入により、糖度を正確かつ迅速に測定でき、高品質なさくらんぼの安定供給が可能となる。 　さくらんぼプレミアム販売量 　　従前｜200セット/年 　　機械導入後｜4000セット/年（1時間当たりの選果量×〇時間/日×●日÷500g（※1セット500g）） 作業効率の向上・労力削減 　従来の手作業による糖度測定が不要となり、選果作業の省力化と処理能力の向上が期待できる。 高付加価値商品の量産化 　糖度20度以上のさくらんぼを確実に選別し、「甘さを保証されたさくらんぼ」としてブランド化し、安定供給を実現する。 収益性の向上 　高価格帯のブランド商品を増産することで、価格競争から脱却し、収益性の向上につなげる。 契約農家の所得向上 　高品質なさくらんぼの適正評価が可能となり、契約農家の収益増加に貢献する。 地域ブランドの強化 　産地全体の品質向上とブランド力強化につながり、市場での競争優位性を確立できる。 先行者メリットの獲得 　他産地に先駆けて高度な選果技術を導入することで、競争力を高め、差別化を図る。
産業振興効果	契約農家の所得向上 　高品質なさくらんぼの適正評価が可能となり、契約農家の収益増加に貢献する。 地域ブランドの強化 　産地全体の品質向上とブランド力強化につながり、市場での競争優位性を確立できる。

事業スケジュール	2025年9月：補助率1/2にあたる寄附額達成 2025年12月：補助率10/10にあたる寄附額達成 2025年12月：設備発注 2026年2月：設備導入		
事業の運営体制 ※別添可	役員	1名	責任者
	従業員	10名	選果・箱詰め作業、営業・販売管理　等
新規返礼品 ※プロジェクトにより造成する場合のみ記入	高付加価値のさくらんぼ		
その他			

※必要に応じて、記入欄を増やしてください。

ふるさと納税を活用した地域産品創出事業　提案書（サンプル③）

提案者について		
提案者名	〇〇株式会社	
代表者役職氏名	代表取締役社長　○○○○	
担当者氏名	○○工場　○○○○	
会社所在地	○○県○○市○○町○○丁目○○番○○号	
電話番号	○○○○-○○-○○○○	
FAX番号	○○○○-○○-○○○○	
メールアドレス	○○○○○○	
主たる業種	パルプ・紙製造業	
現在の返礼品提供	なし	
提案者の概要	1960年に○○県で産業用紙のメーカーとして創業。衛生用紙の加工・販売などを中心に行っており、売上高、経常利益の推移からもわかるとおり業績は好調。国内12カ所に拠点があり、2026年までに宮崎市にも新たに「宮崎工場」として製造拠点を設ける計画となっている。	
提案者の 現状・課題・展望	「宮崎工場」の設立後、全国的に知名度のある衛生用紙「○○」の返礼品提供を検討している。クラウドファンディングを通じて宮崎市ふるさと納税返礼品としての需要を測り、クラウドファンディングの反応に合わせた整備計画を構築する必要がある。	
事業概要		
プロジェクト名	「○○」製造拠点新設　プロジェクト	
整備事業費	300,000千円	
自己資金の確保策 ※補助額が½の時	補助金	150,000千円

	自己資金	15,000千円
	借入金	120,000千円
	その他（○○助成金）	15,000千円
	補助金以外の資金確保について	例）自己資金により対応可。 例）金融機関からの借り入れを想定しており、既に○○千円の融資を相談済み。
提案内容	全国展開している衛生用紙「○○」の製造ラインを整備	
目的	新しいビジネスモデルとしてふるさと納税を活用し、宮崎工場での生産規模拡大を目指す	
補助事業の効果	生産量の増加 　製造ライン導入により、年間の衛生用紙「○○」の生産数量は500万個から最大1000万個まで増加する。 生産能力の向上 　製造ライン導入により、生産能力が向上し、需要増加に対応できる体制を構築する。 事業規模の拡大 　生産量の増加に伴い、九州内の管轄エリアも拡大し、宮崎工場の規模拡大が計画される。	
産業振興効果	地域資源の**PR**効果 　製品を作る過程で、市外への地域資源の魅力発信を行うことができる。 地域経済の活性化 　宮崎市内企業（林業、運送業、小売業など）との取引が発生し、地域経済の活性化に貢献する。 雇用創出効果 　宮崎工場の設立により、30～40名程度の雇用が創出される。 地域産業との連携強化 　特に林業、運送業、小売業との密な関係を構築することで、地域産業の連携強化を促進する。	

<table>
<tr><td>事業スケジュール</td><td colspan="3">2025年11月：補助率10/10にあたる寄附額達成
2025年12月：製造工場整備着工
2026年9月：製造工場整備完了
2026年10月：返礼品製造開始
2026年12月：返礼品発送開始</td></tr>
<tr><td rowspan="3">事業の運営体制
※別添可</td><td>工場長</td><td>1名</td><td>責任者</td></tr>
<tr><td>従業員</td><td>25名</td><td>加工・工程管理</td></tr>
<tr><td>パート職員</td><td>40名</td><td>加工補助</td></tr>
<tr><td>新規返礼品</td><td colspan="3">※プロジェクトにより造成する場合のみ記入
衛生用紙「○○A」 64ロール　提供価格4,200円
衛生用紙「○○B」 64ロール　提供価格4,500円</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="3">・環境にも配慮しており、持続可能な資源調達を行うために、SDGsに係るガイドラインを策定している。
・環境に配慮した原料調達を行うために、森林認証材の調達を推進している。</td></tr>
</table>

※必要に応じて、記入欄を増やしてください。